

保健学科長からのメッセージ ～ 保健学科の学生のみなさんへ

秋学期が始まりました。気を緩めることはできませんが、新型コロナウイルスの感染は5波を乗り越え、わずかなりとも先が見える状況になりつつあります。一方でコロナ禍に翻弄されたこの1年半は決して短い時間ではありませんでした。医療に直接関わる保健学科の学生の皆さんや教員の私たちにとって特別な思いをもって学んだことや滞ったことがそれぞれ少なくはなかったと思います。

10月には名古屋大学の活動指針も緩和されました。けれども、運動不足の体で急に運動すれば体のあちこちが痛くなり故障もでてしまうように、しばらく開けていなかったところの扉を開くにはウォーミングアップが必要です。少しずつ勇気を出して、学生としての本来の活動や交流を増やしていただきたいと思います。なかなかスムーズに生活が進まない場合もあるでしょう。皆さんはこれまでも、これからも、どんなときもひとりではありませんし、自分だけの大学生活ではありません。悩みや不安が大きくても、話を聞いてくれるひとは必ずいます。身近なひとに話しにくいことであれば、名古屋大学の学生支援本部で相談してみてください。学生の皆さんを支援するため、どんなことでも相談できる窓口です。

昨年以來 私たちが体験してきている いつも通りではない社会や身の周りの状況 はそれぞれの立場の苦勞や課題を残しています。このような状況にあっても学びを通じて学生の皆さんを支えつつ、他者を支え助けることのできる人材として送り出す医学部保健学科・医学系研究科総合保健学専攻の使命はこれまでと同じです。名古屋大学も皆さんのサポートにこれまで以上に力を入れています。皆さんといっしょに前に進んでいきましょう。



医学部保健学科長 寶珠山稔